

特別支援教育の充実

発達や学びの連続性を踏まえた教育の充実

【対象者】

幼稚園 支援を要する園児

小学校 特別支援学級の児童
普通学級に在籍する
支援を要する児童

中学校 特別支援学級の生徒
普通学級に在籍する
支援を要する生徒

就学指導委員会
就学すべき教育
機関の判定

指導主事

特別支援学級担任

- 連携強化
- 情報共有

養護教諭

特別支援補助講師
通級指導員

個別の指導計画作成

- 児童等一人ひとりの教育ニーズを把握
- 持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善、克服する力の育成
- 適切な指導及び必要な支援

インターネット
瞳(アイ)ランドプロジェクト
平成26年度試験導入

高松養護学校
小豆分室

- 平成29年度の取組
- ① 研修事業
 - ② 相談業務

小豆地区特別支援学校
設立に向けた取組み

ぬくもりと希望の島

- 健康づくり福祉課と連携
- ①特別支援学校の新設
- ②障害者支援施設の新設
- ③働く場の充実
- ④多世代交流拠点の拡充

推進の体制づくり

教職員の資質及び専門性の向上

研修等の実施

- 教職員自身が多様な知識や豊かな経験を得る。
- 状況に応じ、適正な教職員配置を行う。
- 専門性及びカウンセリング能力の向上を図る。

受入体制の整備

施設整備

- エアコン・トイレ等の整備
- 階段昇降機、特別支援教材の購入
- 斜路、手すり等のバリアフリー整備等

特別支援補助講師の拡充

適正配置

20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
6人	9人	12人	13人	12人	17人	20人	20人	20人	22人

通級指導員の配置 29年度から中学校に1名配置